

# わかやま

No.40

和歌山県精神保健福祉センターだより 2009年8月

## 「発達障害者支援センターをご存じですか？」

和歌山県発達障害者支援センター「ポラリス」センター長 辻 幸代

発達障害者支援センターは、平成17年に発達障害者支援法が施行され、全国の都道府県と政令指定都市に設置されるようになりました。和歌山では県の委託事業として平成17年10月から愛徳医療福祉センター内に設置されています。

私たちの支援の対象者は、「広汎性発達障害」「注意欠陥多動性障害」「学習障害」などをお持ちの方とその家族や支援者です。対象年齢は、幼児期から青年・成人期にいたるまで幅広い層の発達障害の方にご利用いただいております。

それぞれ主な症状は違いますが集団生活や人とのかかわりの中で困難さをかかえていらっしゃる方が多く、長期にわたりストレスを受け続けたことにより二次的な精神症状を併発している方も相談に来られます。

主な事業を紹介します。

○ 相談支援事業・・・発達障害ってなに？子育てに困っていることや問題行動について、福祉制度に関する情報提供など様々な相談に応じています。

電話相談 月曜日～金曜日 10：00～16：00（ただし水曜日の午前中を除きます）

面接相談 月曜日～金曜日 10：00～16：00（ただし水曜日の午前中を除きます。予約制）

メール相談（24時間・年中無休で受け付けますが、お返事については開業時間に行います。）

巡回相談 橋本保健所（1回/月）新宮保健所（1回/2ヶ月）新宮保健所串本支所（1回/2ヶ月）

○ 療育支援事業（コンサルテーション事業）・・・

発達障害の方が所属する機関にスタッフが訪問して支援者と一緒に支援の方策を考えます。

○ 就労支援事業・・・就労したいけどうまくいかない、支援を受けたいけどどうすればいいかわからないなど就労に関する相談を県内の関係機関と一緒に考えていきます。

○ 普及啓発および研修事業・・・発達障害についての正しい理解と必要な支援を広く知っていただくための講演会を主催するとともに講師派遣も行っています。

全ての事業のご利用はお電話でのお問い合わせから始まります。診断がついていない方からの相談が全相談の半数を超えているのが現状です。匿名での相談もお受けしています。気がかりなことがある場合、早めのご相談をお勧めします。

〒641-0044

和歌山市今福3丁目5番41号 愛徳医療福祉センター内

TEL 073-413-3200 / FAX 073-413-3020

e-mailアドレス polaris@jtw.zaq.ne.jp

## もくじ

- P 1 発達障害者支援センターをご存じですか？
- P 2 ひきこもり地域支援センターを開設しました
- P 3 社会福祉法人 一麦会『麦の郷 ハートフルハウス』
- P 4 自殺対策シンポジウム開催
- P 5 メンタルヘルスニュース  
ハローワークに精神障害者就職サポーターが配置
- P 6 は一とふるネットワーク「ゆうあいホーム 廣島快侍さん」  
研修のお知らせ / こころがほっとするメッセージ募集

# ひきこもり地域支援センターを開設しました

ひきこもりとは、様々な要因が複雑に絡み合っ起こるメンタルヘルス上の問題です。本人や家族だけではひきこもりからの回復が困難なケースも少なくありません。

和歌山県では平成16年度から保健所及び精神保健福祉センターが中心となってひきこもりの相談などを実施してきました。この度、より一層、地域でのひきこもり支援を充実していくために、県精神保健福祉センター内に新たに「ひきこもり地域支援センター」を設置しました。同センターでは、下記の業務を行って参ります。

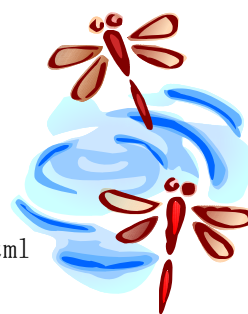
## 1 相談窓口の充実

ひきこもり本人やご家族などからの相談に、臨床心理士、精神保健福祉士、保健師等が電話相談などを実施します。ひとりで悩まずに、まずはご相談ください。

※ 保健所での相談も従来どおり実施しています。

電話相談：月～金 9:00～17:45  
(祝祭日、年末年始は除きます)  
電話番号 073-435-5194

来所相談：原則予約制



## 2 情報発信の充実

ひきこもりに対する理解を深めることを目的に、情報発信を行います。

URL：<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/040400/050301/hikikomori-top.html>

または「和歌山県ひきこもり地域支援センター」で検索してみてください。

## 3 その他

保健、医療、福祉、労働、教育など関係諸機関が連携し、和歌山県におけるひきこもり支援がさらに展開するよう、ネットワークづくりを行います。

また、センターでは家族のつどいやフリースペースなどを実施しています。

### 青年のつどい フリースペース

ひきこもりの本人を対象に、仲間どうしが集まって自由に過ごせる憩いの場をもうけています。室内ゲームや音楽鑑賞、卓球等、さまざまな活動をとおして、人との関わりの楽しさを体験すること、コミュニケーションの力を高めていくこと等を目的にしています。

開催日：毎週火曜日 13:00～16:00 (センター内 プレイルーム)

申込み：まずはセンターにご連絡ください。事前にスタッフが個別相談に応じます。

### ひきこもり家族のつどい (ハーネス)

ひきこもり者の家族を対象に、家族どうしが互いの悩みをわかちあったり問題解決の手だてを共有しあったりするための集まりの場をもうけています。

開催日：毎月第3水曜日 13:30～15:30 (センター内 グループセラピー室)

申込み：不要

### ひきこもり・思春期相談

専門精神科医によるひきこもり・思春期相談を実施しています。

思春期に特有の悩みや精神疾患、ひきこもりのご本人やご家族の相談に応じます。

開催日：毎月第4金曜日 9:30～11:30 (センター内 相談室)

申込み：要予約 (相談を希望される方は、あらかじめ電話にてお申し込みください)

\*詳しくは上記ホームページをご覧ください。

このコーナーでは、シリーズで県内の組織やグループの活動を紹介します。



## 社会福祉法人 一麦会『麦の郷ハートフルハウス』

麦の郷でのひきこもり・不登校支援は、1996年4月に立ち上げた、精神障害者地域生活支援センターで行う支援のひとつとして始めました。具体的にどのような活動をおこなっているか、一人の若者に焦点をあてて紹介をさせていただきます。

彼は、「このまま生きていても、仕方がない」「なんで生まれてきたのだろう」という気持ちと「このままでは嫌や」「何とかせなあかん」「今の状態を何とかしたい」「自分が変わらなくては」と思う気持ちの繰り返しの中で私たちのもとへやってきました。

彼は、「ハートフルハウスで大切な時間を過した」と語ります。高校からひきこもり状態だった彼は、今まで人とのコミュニケーションをどのように取れば良いかわからず、話しかけられるとどのように答えればよいのか、相手を傷つけることを言ってしまうかわらないかなど、いろいろと考えるうちに無口になり、人との関わりを拒むようになったそうです。彼の中学、高校時代の記憶は、窮屈な時間と空間をただ過していたという思いが今も彼の中で残っています。

彼が過した大切な時間とは、安心して安全な自分が否定されない場所。それは、最も自分自身が自然体でいることが出来る居場所で過した時間でした。彼は、「家に居たときには、味わえなかった人とのふれあいの大切さや、みんなで一緒に何かをする楽しさを知りました」と話します。飾らない自分を出すことができる仲間との出会いがそこにあったのではないのでしょうか。

また、彼は、彼自身の発言の中で、「僕の世界は、もの凄く変わった」と話します。「僕が変わった」のではなく、「僕の世界は、変わった」との表現の中には、自分自身はあまり変わっていないのでしょうか、当たり前ですよ、人間そう簡単には変わりません

し、変わる必要もありません。

自分が変わるということは、ひきこもっていた今までの自分の人生を否定することになります。ひきこもりの青年たちは、ひきこもっているという事実があることから、自分自身を変えなくてははいけないと思いついています。自分を変えるため高く目標を設定しそれを掴もうとして空回りし苦しんでるようみえます。

彼が話す「僕の世界が変わる」ということは、彼の立ち位置が劇的に変化したことです。今までは、自分で何かをしようと思っても、他者からの評価や価値に左右され一歩を踏み出せなかったという客体としての人生でした。しかし、彼自身の居場所がはっきりすることで、今、出来ることは、なんでもチャレンジしたいという主体としての人生にかわった瞬間を「世界が変わる」と表現しています。

その後、彼は、私たちが企画するホームヘルパー2級講座を受講し、講義や実習を行う中で「自分でも役に立つことがあるかもしれない」という思いが膨らみました。ヘルパー修了後、働くということに不安が残っているため、介護施設での体験や実習をおこないながら徐々に体と心を慣らし、現在、介護福祉施設で週5日働き始めています。



社会福祉法人 一麦会  
麦の郷紀の川・岩出生活支援センター  
センター長 野中 康寛  
TEL 0736-78-2808  
TEL&FAX 0736-78-2807

和歌山県ひきこもり者社会参加支援センター事業の指定を7月から受け、ハートフルハウスの活動がさらに充実しはじめています。

・・・わたしたちが大切にしていること・・・

### 『活動（労働）の場』

集団での活動、労働を通し地域や社会との関わりを持ち社会参加をめざしていく場

### 『日常生活をより充実させる場』

主体的に行事などを企画することによって、やりがいや楽しみを見つけ生活の幅を広げていく場

### 『安心して集まれる居場所（拠点）』

同じ思いを持つ仲間が集い、自己の価値を認め合い、共感できる場。

# 自殺対策シンポジウムを開催します

9月10日（木）～16日（水）の一週間は「自殺予防週間」です。自殺について正しい知識を身につけていただくとともに、自殺を考えている人のこころのサインに気づき、自殺予防につなげるために一人ひとりの取り組みが大切です。

ここ数年、和歌山県内で年間250～300人の方が自ら命を絶っています。人口の割合で見ると、全国平均を超えている状態が続いています。性別では、全国と同様に男性が女性より多く、特に50代の男性が多いです。

このような状況の中、和歌山県では平成19年に「和歌山県自殺対策連絡協議会」を立ち上げ、行政機関や関係団体が連携共同し、総合的な自殺対策の検討を行っています。

今回、その一環として、自殺対策についてのシンポジウムを開催します。自殺で亡くなる方を少しでも減らせることができるよう、参加者の皆様とともに考えたいと思います。

多数の方のご参加をお待ちしています。

平成21年度

## 自殺対策シンポジウム

IN和歌山 - つながりの大切さを考える -

開催日 平成21年9月27日（日）

会場 コガノイベイホテル（白浜）

定員 300人（先着順）

※ 問い合わせ 自殺対策シンポジウム参加受付事務局  
（TEL 03-5304-2550）

### プログラム

- ① 開会挨拶(13:00～13:15)
  - ・ 和歌山県知事 仁坂 吉伸
  - ・ 内閣府自殺対策推進室長 松田 敏明
- ② 第一部 基調講演(13:15～14:15)  
「こころと命を支える地域づくり  
～自殺を防ぐためにわたしたちにできること～」
  - ・ 関西国際大学人間学部教授 渡邊 直樹
- ③ 第二部 当事者からの報告(14:15～14:55)
  - ・ こころのカフェきょうと代表 石倉 紘子
- ④ 第三部 パネルディスカッション(15:10～17:00)  
テーマ「つながりの大切さを考える」

コーディネーター

和歌山県立医科大学医学部神経精神医学教室教授 篠崎 和弘

パネリスト ・ 白浜警察署生活安全刑事課係長 岡垣内 諭

・ 田辺保健所主任 栗田 直嗣

・ 白浜町長 立谷 誠一

・ NPO法人 白浜レスキューネットワーク理事長 藤藪 庸一

（五十音順）



自殺予防週間

平成21年9月10日（木）から16日（水）

## 和歌山メンタルヘルスニュース

県内の精神保健福祉関連の最新情報と当センターの活動をお知らせします。

### ○ こころの健康講座

5月25日(月)、田辺地域職業訓練センターにて開催し、県民の方67名にご参加いただきました。内容は、和歌山県立医科大学医学部 神経精神医学教室 准教授 鶴飼聡氏による「うつ病を理解し、こころの健康を保つ」でした。参加者からは、「いろいろと参考になりました」「少しは自分を見つめることが出来た様に思います」などの意見がよせられました。

### ○ 心のレスキュー隊隊員基礎研修会

8月3日(月)和歌山ビッグ愛で、8月4日(火)西牟婁振興局で開催しました。臨床心理士、精神保健福祉士、保健師、看護師、教諭等計39名の方が参加されました。北端裕司精神保健福祉センター所長が「ストレス障害とこころの緊急支援」について、上野和久氏が「二次障害とストレスマネジメント」について講義を行いました。参加者からは、「CRTの活動について知ることができてよかった」「実技を交えてのお話でとてもわかりやすかった」「支援者のこころの状態が子どもの対応に影響することがわかり大変参考になった」等の意見がよせられました。

### ○ 精神保健福祉協会講演会

7月13日(月)和歌山ビッグ愛で開催しました。会員及び一般の方77名が参加されました。青木新門氏が「いのちのバトンタッチ」について講演を行いました。参加者からは、「死に向き合うことは『生きる』ことを考えること」「身内を見送ったことが思い出され、いろいろと考えさせられた。また先生の話を知りたい」等の感想が聞かれました。

### ○ 精神保健福祉関連新任者研修

6月10日(水)、6月11日(木)の2日間、和歌山ビッグ愛にて、精神保健福祉業務に従事して概ね5年以内の担当者51名を対象に実施しました。研修内容は、「精神疾患と精神障害の理解」「精神障害者と人権」「相談の受け方の実際」「障害福祉サービスの提供について」でした。参加者からは、「実践に役立つ内容だった」「知識やアイデアが得られた」などの意見がよせられました。

## ～ ハローワークに精神障害者就職サポーターが配置 ～ 精神障害を持つ方の就職相談の窓口が開設されました～

精神障害をお持ちの方の就職活動を応援するために、病気や障害のカウンセリング等を行う相談窓口が県下各地のハローワークで開設されました。相談には、精神保健福祉士、精神障害者施設職員、障害者生活相談員などが対応します。相談を受けるには、事前予約が必要です。相談を希望される方は、各ハローワークにお問い合わせください。

### 各ハローワークの相談日時(要相談予約)

ハローワーク名	連絡先	2009年度の相談日時
ハローワーク橋本	橋本市東家5-2-2 橋本地方合同庁舎1階 電話:0736-33-8609	毎月 第2木曜日 午後1時30分～午後5時 第4木曜日 午後1時30分～午後5時
ハローワーク和歌山	和歌山市美園町5-4-7 電話:073-424-9773	毎月第1～4 水曜日 午後1時30分～午後5時
ハローワークかいなん	海南市船尾186-85 電話:073-483-8609	毎月 第2木曜日 午後1時30分～午後5時 第4木曜日 午後1時30分～午後5時
ハローワーク湯浅	有田郡湯浅町湯浅2430-81 電話:0737-63-1144	毎月 第1水曜日 午後1時30分～午後5時 第3水曜日 午後1時30分～午後5時
ハローワーク御坊	御坊市湯川町財部943 電話:0738-22-3527	毎月 第2水曜日 午後1時30分～午後5時 第4水曜日 午後1時30分～午後5時
ハローワーク田辺	田辺市朝日ヶ丘24-6 電話:0739-22-2626	毎月 第2木曜日 午後1時30分～午後5時 第4木曜日 午後1時30分～午後5時
ハローワーク新宮	新宮市神倉4-2-4 電話:0735-22-6285	毎月 第3水曜日 午後1時30分～午後5時



精神保健福祉の第一線で働く関係スタッフの紹介コーナーです。  
今回は、田辺市にある生活訓練施設のゆうあいホームで生活支援ワーカーを  
されている廣島快侍さんです。



## はーとふるネットワーク



### ー ゆうあいホームでの勤務はどれくらいになりますか？

1年と4ヶ月です。

### ー 生活支援ワーカーになられたきっかけは？

生活支援ワーカーという言葉すら知らなかった僕が、たまたま知り合いの方に紹介されやってみたということです。

### ー この仕事をしていて良かったと思う時はどんなときですか？

なかなか名前を覚えてくれない方が、突然、名前で呼んでくれた時。

### ー 仕事で苦労する点はどのようなことですか？

利用者の方に、どれだけ説得しても納得してくれない時。  
どうすれば伝わるんだろうと困る。

### ー ゆうあいホームのPRを一言お願いします。

大きな公園が近くにあり、病院も各種すぐ近くにあり安心で、いい環境にあります。職員、利用者ともども楽しくやっております。

### ー 休日はどのように過ごされていますか？

完全にアウトドア派なので、とにかく家を出て、スポーツやBBQなど友達とよくやっています。最近ゴルフも始めました。

### ー 今後の抱負を教えてください。

利用者の方に、より楽しい生活を送ってもらえるよう、いろいろな取り組みなど考えて実行していきたい。

### ー 廣島さんから、次の方のご紹介をお願いします。

くまのこ作業所 作業支援員の亀田里沙さんです。



## 研修等のお知らせ

### ○ SST中級(アドバンス)研修(仮)

日時：11月11日(火)12日(水)

講師：ルーテル学院大学大学院  
名誉教授 前田 ケイ 氏

場所：和歌山ビッグ愛

対象：和歌山県内の行政、医療、福祉施設関係者  
25名

※ 申し込み方法等、詳細は追ってご案内します



## 編集後記

朝早起きすると、空気はもうひんやりと秋のおいしがします。この夏は日照時間が少なかったため野菜や果物の値上がりが気になりますが、それよりも、満喫感がないまま夏が終わってしまうさみしさが先行します。心残りのないよう、今のうちにスイカやぶどうを存分に食べておこうと考えています。

## 「こころがほっとするメッセージ」 を募集しています

募集期間 平成21年9月25日(金)まで

賞(入選) 10名程度(賞状・副賞5千円)  
(小・中・高校生には同額の図書カード)  
\* 副賞は、和歌山県精神保健福祉協会から贈呈します。

趣 旨 普段の生活の中で、こころがほっとするメッセージを5・7・5の17文字につづってもらい、こころの健康を見つめ直す機会を提供します。1人3点以内とします。

応募資格 和歌山県内に在住、または県内に通勤・通学している方

応募方法 作品に氏名・性別・年齢(学校名と学年)・住所・勤務先・電話番号を記入の上、当センターまでご応募ください。

\* なお応募用紙は精神保健福祉センターのホームページからダウンロードできます。

## 和歌山県精神保健福祉センター

〒640-8319 和歌山市手平二丁目1番2号 県民交流プラザ“和歌山ビッグ愛”2階

☎(073)435-5194 FAX(073)435-5193

http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/040400/050301/